

ニューズレター



きめ細かな
支援で癒す
心の傷

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 かがわ被害者支援センター



公益社団法人 かがわ被害者支援センター

事件、事故等の被害者及びそのご家族に対して、精神的支援その他の各種支援活動を行うとともに、社会における被害者支援意識の高揚を図り、地域安全並びに被害者等の被害の回復及び軽減に寄与することを目的に設置された団体です。

講演会開催

被害者支援講演会の開催

六月二四日 香川県社会福祉総合センター

演題

犯罪被害者支援の現状と今後の展望

講師

全国被害者支援ネットワーク
理事長 平井紀夫氏

四国新聞 平成 28 年 6 月 25 日 (土)



「犯罪被害者がいつでも、どこでも支援を受けられる環境の整備が課題」と語る平井理事長＝高松市番町

犯罪被害者遺族の 心情に配慮が重要

高松支援ネットワーク理事長講演

犯罪被害者や遺族への支援について理解を深める講演会が24日、高松市番町の県社会福祉総合センターで、NPO法人全国被害者

支援ネットワーク(東京)の平井紀夫理事長が「言葉を掛けるか迷うなら、周りの人はただ黙って寄り添うだけで十分」などと、心情に配慮した支援活動の重要性を訴えた。

講演会は、かがわ被害者支援センターと県警察協会の主催で、約110人が出席した。

平井理事長は「犯罪被害者支援の現状と今後の展望」と題して講演。長男を失った当時の心境について「不眠や食欲不振、『どうして息子を中国に行くことを許したのか』と自分を責める日々が続いた」と吐露した。さらに、周りの人に掛けられる言葉は犯罪被害

者にとって「励まし」にも「二次被害」にもなることを説明した。

犯罪被害者の支援体制については、被害者からの相談件数が毎年増えているにもかかわらず、若い世代の支援員や相談員の人数が足りていない現状を取り上げ、「いつでも』『どこでも』支援を受けることができる環境の整備が今後の課題」と強調した。



ご 紹 介

かがわ被害者支援センター役員

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属 機 関 等
理 事 長	安 西 敦	弁護士
副理事長	松 田 和 也	香川県医師会常任理事
副理事長	潮 秀 隆	香川県弁護士会犯罪被害者支援委員会委員長
専務理事	中 村 朝 宏	かがわ被害者支援センター専務理事兼事務局長
理 事	大 木 裕 治	四国学院大学教授
理 事	田 中 良 子	高松大学名誉教授
理 事	牟 禮 昌 忠	牟禮印刷(株)取締役社長
理 事	大 森 邦 彦	四国新聞社専務取締役総務局長
理 事	平 野 美 紀	香川大学教授
理 事	野 田 法 子	香川県婦人団体連絡協議会会長
監 事	高 木 一 郎	税理士
監 事	渡 隆 一	香川県警友会連合会会長

正 会 員

(敬称略、順不同)

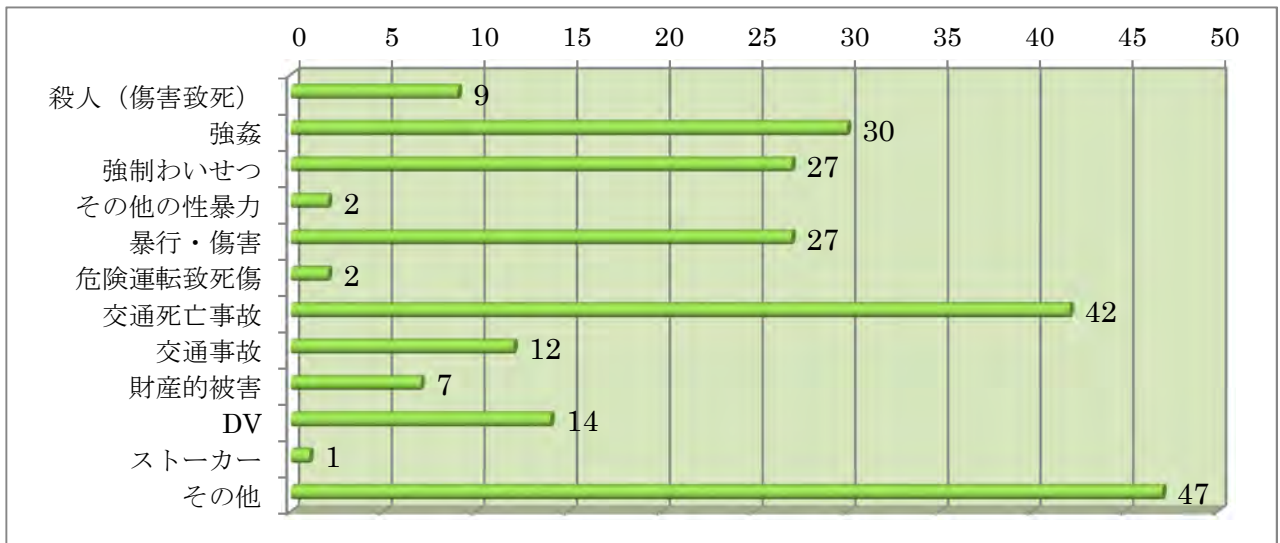
一般財団法人 香川県交通安全協会	一般社団法人 香川県医師会
一般社団法人 香川県警備業協会	一般社団法人 香川県指定自動車学校協会
一般社団法人 香川県トラック協会	医療法人社団 昌樹会ウツミ整形外科医院
香川県安全運転管理連絡協議会	香川県弁護士会
香川県警友会連合会	株式会社 タダノ
株式会社 香川銀行	株式会社 たいよう共済香川支店
牟禮印刷 株式会社	株式会社 四国新聞社
公益財団法人 香川県防犯協会連合会	公益財団法人 香川県暴力追放運動推進センター
四国旅客鉄道 株式会社	四国電力 株式会社
高松信用金庫	ネットヨタ高松 株式会社
野村證券 株式会社 高松支店	株式会社 百十四銀行
香川県商工会議者連合会	一般社団法人 香川経済同友会
自動車安全運転センター香川県事務所	

相談活動

— 平成 27 年度中 —

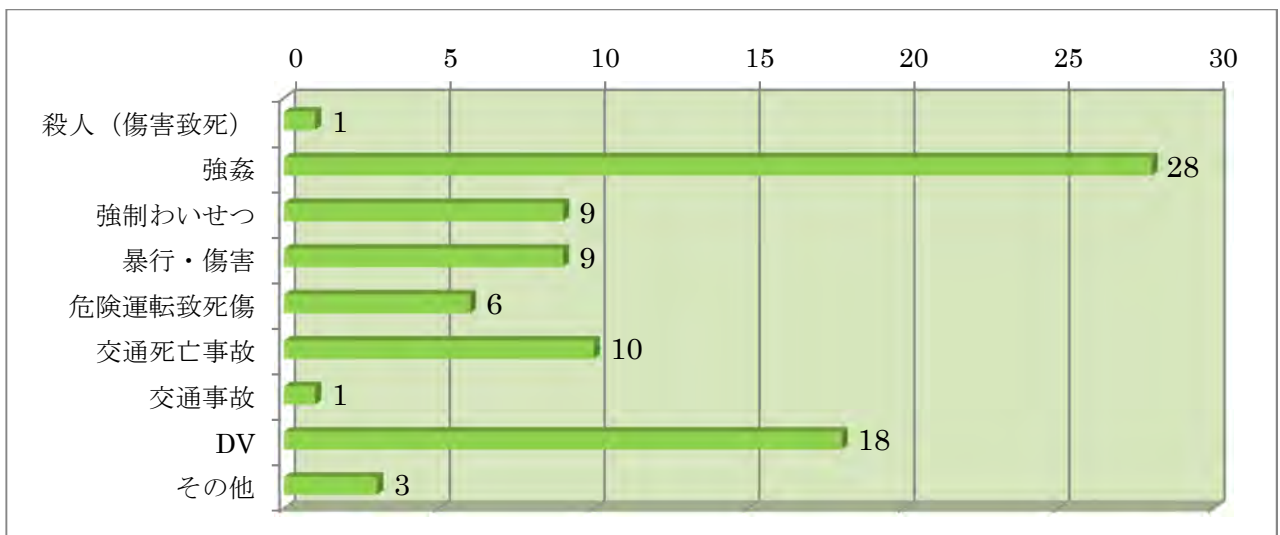
1 電話相談被害罪種別件数

電話相談の受理総数は 220 件で、被害内容を罪種別に見てみますと、性被害（強姦、強制わいせつ等）や危険運転致死傷、交通死亡事故等交通関係、DVに関する相談を多く受理しています。



2 面接相談被害種別件数

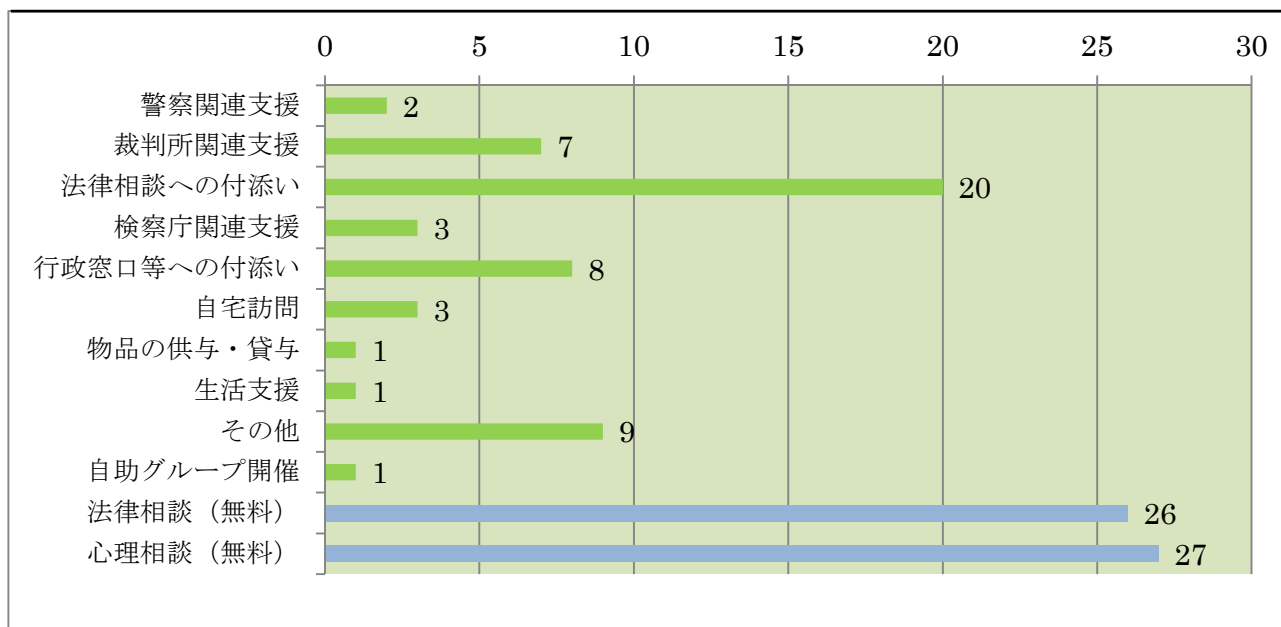
面接相談の受理総数は 85 件で、被害内容を罪種別に見てみますと、性被害（強姦、強制わいせつ）が 37 件で、全体の 43.5%を占めており、DVや交通死亡事故、危険運転致死傷も多く受理しています。



3 支援内容別件数

電話や面接相談の結果、必要に応じて法律相談や心理相談などを行っており、法律相談 26 件心理相談 27 件実施しています。

また、ご要望に応じて警察署や検察庁、裁判所、行政窓口等への付添い支援を行っています。



犯罪や交通事故などの被害でお悩みの方に…

- どこに相談したらよいか分からなくて困っている。
 - ・法律や裁判のことが分からない。
 - ・誰にも分かってもらえない。でも誰かに話を聴いてもらいたい。
- 事件後、からだや心の調子が悪い。
 - ・事件の夢を見る。
 - ・不安や無力感、孤独感を感じる。
 - ・自分に責任があると自分を責める気持ちになる。
- 何かをする気力が出ない。

～ 私達にお電話ください ～

相談電話

087-897-7799

受付日時

月～金曜日 午前10時～午後4時

(祝日、年末年始は除きます)

相談・支援は無料で行います。秘密は固く守ります。

活 動

<H28 年 1～6 月>

研修

犯罪被害者支援活動員養成講座

- ★ 5月10日～10月25日の間10回開催
[講師]香川県職員、警察官、弁護士、大学教授、臨床心理士、被害者ご遺族等



継続研修

- ★ 毎月1回開催
[講師]大学教授、弁護士、臨床心理士
他県の被害者支援センター相談員等



その他の研修

- ★ 中国・四国ブロック事務局長会議（1/29）<1名参加>
- ★ 中国・四国ブロック研修会（1/30、31）<3名参加>
- ★ 香川県弁護士会における研修会（3/19）

講話

1月	安全運転管理者講習：高松テルサ	5月	香川県警察学校初任科生
2月	四国管区警察学校	6月	安全運転管理者講習：小豆島ふるさと村
〃	坂出警察署被害者支援連絡協議会		

関係機関との連携・広報

- ◆ 香川県弁護士会被害者支援委員会（毎月1回：弁護士会館）
- ◆ テーマ研究会（隔月：弁護士会館）
- ◆ ワンストップ支援センター設立協議会、協議（毎月）
- ◆ 香川県婦人団体連絡協議会生活文化展において
パネル展示（1月：サンポート高松）
- ◆ 香川県共同募金会研修会（5月）



命の大切さを学ぶ教室

平成 27 年度中に香川県警察と連携して、中学生・高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」を中学校 7 校、高校 4 校の計 11 校で実施しました。

講師は交通事故や、少年犯罪の被害者ご遺族にお願いしました。

生徒達は真剣な表情で遺族の話聴き、改めて命の大切さを学び、犯罪や事故を起こしてはならないという意識の向上を図ることが出来ました。



実

施

校

<平成 27 年度中>

開催月	中学校	開催月	高校
10 月	県立高松工芸高校	12 月	高松市立山田中学校
11 月	直島町立直島中学校		県立香川中央高校
	土庄町立土庄中学校	2 月	県立観音寺中央高校
	坂出市立坂出中学校	3 月	私立英明高校
12 月	高松市立協和中学校		高松市立香東中学校
	まんのう町立琴南中学校		

<平成 28 年度実施（予定）校>

開催月	開催校	開催月	開催校
5 月	県立志度高校	2 月	県立坂出高校
11 月	県立高松工芸高校	3 月	英明高校
12 月	県立香川中央高校	未定	高松市立山田中学校
12 月	県立多度津高校	未定	県立琴平高校

平成 28 年度 実施校募集中!

平成 28 年度も 10 校程度の中学校、高校で開催を予定しています。全校生、学年対象どちらでも可能です。講師への依頼や送迎などは当支援センターと県警察が行います。

実施についてのご依頼やご質問がある場合は、ご説明におうかがいしますので、ご連絡をお願いします。

<連絡先>

(公社) かがわ被害者支援センター事務局 (087) 897-7790

受賞

第5回「命の大切さを学ぶ教室」全国作文コンクール（警察庁主催）

同コンクールは、犯罪被害者らが実体験を語る「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中・高校生の作文が全国から約1万点寄せられ、県内から2人が受賞されました。

<中学生の部>

警察庁犯罪被害者支援室長賞

～ 命の大切さを学ぶ教室 ～

勝賀中学校1年生（現在2年生）

荻山 千夏 さん

市原さんの息子さんは、三人の少年による暴行でなくなってしまいました。暴行の理由は、電話に出ないなどの因縁というささいなことでした。被害にあった息子さんだけではなく、家族なども精神的ショックなどの被害があることがわかりました。

市原さんの言葉で、私が普段なにげなく、シャーペンを持ったり、部活のラケットを握ったりしている手には二つの意味があることを知りました。それは新しい命へとつないでいく手と、たった一つの命を奪ってしまう手という意味です。間違った判断をして手を使った場合、相手を傷つけたり、加害者になってしまったりします。私はその手の使い方は自分次第だと思いました。

私の将来の夢は看護師になり、どんな事情を抱えている人でも笑顔にすることです。そのために私は、正しい判断をします。注射をしたり、手遊びで子どもを笑わせたりなど、

人のために使いたいと思いました。被害者になってしまうことはありますが、加害者になることは防げます。だから、どんなことがあっても相手を傷つける意味では使いません。また、「生きていく上で、苦しいことや悲しいこともある。自分の命を絶つことはせず、相談して欲しい。」という言葉が心に残りました。私たち一人一人の命は両親からもらった大切な命です。そんな大切な命を絶つことはみんなに苦しみを与えてしまうと思います。小学校から中学校へと成長していくにつれ、苦しいことや悲しいことをたくさん経験しました。しかし私は、いつも隣にいてくれる友達存在や、話を聞いてくれる母のおかげで乗り越えられました。だから、これから先にどんなことがあっても相談します。そして、自分の受けた優しさを友達にできるようになります。すなわち、友達が相談してくれたら、相手の気持ちに寄り添ってきけるようになりたいです。

軽い気持ちで言った言葉や何気ない一言で相手を傷つけてしまうことがあります。少しでも傷つけてしまうと加害者になります。だから自分の言った言葉や、友達に対しての態度や行動の一つ一つに責任を持つことを心がけます。市原さんの話にあったように、妹のさおりさんのような犯罪被害者がもういなくなることを心から願います。



香川中央高校 1 年生（現在 2 年生）

川原 尚子 さん

『いってきます。』の後に、『ただいま。』と帰ってくることを当たり前だと思わないで下さい。」

この言葉は、交通事故で娘を亡くした徳永順子さんの講演の中で、私が一番心に残っている言葉です。

私は、毎日の生活の中で、「行ってらっしゃい。」と親に言われても、何も返さずに家をでたり、無言で帰宅したりすることが多々あります。その時の家族の気持ちを私は考えたことはありませんでした。きっと、「行ってらっしゃい。」には、「元気に帰ってきてね。」「おかえり。」には、「今日も帰ってきてくれてありがとう。」という気持ちが込められていると思います。それを言ってくれる人がいることを当然と思っているからこそ、私はそういう行動をしてしまうのでしょうか。徳永さんのように、ずっと「ただいま。」の一言を待っている人がたくさんいる中で、自分は大切な幸せを無駄にしています。「ただいま。」を言うと、「おかえり。」と返してくれる人がいる。生きて「ただいま。」としゃべれる自分があるのに言わないことは、最高で最低な贅沢です。これからの日々、家族がいる、自分が生きている、当たり前の幸せをいつかは終わりが来る限りある幸せを大切に思い生活したいです。

また、徳永さんの講演を聴く中で、私が考えたのは、「残された家族の気持ち」です。私も残された家族の気持ちを知っています。

私の祖父は、私が小学校五年生の時、脚立から転落し、持病との合併症が起こり、亡くなりました。突然死でした。私は親しい人が亡くなるのは初めてのことで、それも大好きな祖父だったので、ひどく悲しかったです。「人が死んでしまうとはこういうことなのか。」と初めて知ったのです。しかし、病室で、私を含むたくさんの親戚が号泣する中、祖母は違いました。まだ少し温かさの残る祖父の手を握り、一人静かに涙をこらえ、目を閉じていました。その光景は今でもはっきり覚えています。私には夫婦にしか分からない何か特別なものがあるように感じました。その日以来、祖母の悲しむ姿は一度も見たことがありません。それでも、祖父のことを忘れた訳でもありませんでした。

この前も、「今日はおじいちゃんの八十歳の誕生日なんよ。」と、嬉しそうに話してくれました。前より物忘れが増えてはいますが、祖父に関することは、今でも全て覚えているようです。この世界に祖父がいなくなってしまうと、その人を愛した人の心には一生残っています。一緒に生きた思い出と共に心の中で生き続けるのです。それが、亡くなった者から、残された家族への、形なき一番の宝物なのです。また、残された家族から亡くなった人にできる最大の贈り物こそ、存在していたということを忘れないであげることだと思います。

今回の講演の中で、徳永さんは、『命』の尊さについてお話ししてくださいました。しかし、私は、その話の中から『家族』を連想することがほとんどでした。それは、『命』を生み出すのは『家族』であり、『命』を一番近くで支えるのも『家族』、そして失った『命』を一番悲しむのも『家族』であると思うからです。『命』と『家族』には、深いつながりがあり、相互が存在しないと成り立たないものです。そう、『命』とは、『自分自身』のことなのです。『自分自身』を愛して、初めて『家族』を愛することができる。また、その逆、『家族』を愛して、初めて『自分自身』を愛することができるのです。

「命の大切さを学ぶ」とは、
「自分自身の大切さを学ぶ」こと、
「家族の大切さを学ぶ」ことなのです。



ご 紹 介

賛助会員・寄附者のご紹介【団体】

(敬称略、順不同)

■賛助会員【団体】

- (有) ジュエルヒラタ
日本司法支援センター香川地方事務所
(法テラス香川)
- 香川県婦人団体連絡協議会
平成機工 (株)
香川県遊技業協同組合
高松ゾンタクラブ
(株) 高松アセットビルディング
(有) エイトヒルズ・コーポレーション
こころの相談室 リップル高松
Y&A PRODUCTS
(株) 田中海事
(有) ジュエルヒラタ
三木さぬきライオンズクラブ
三豊ライオンズクラブ
タチバナ工業株式会社
平井法律事務所
岡 義博法律事務所
川東法律事務所
西紋・小林法律事務所 (小林正則 氏)
高松総合法律事務所 (玉井邦芳 氏)
三宅医院 (多度津町)

以上の団体のほか、多数の個人、香川県警察職員やそのOBの方などからもご寄附をいただいております。

ご支援、ご協力をお願いします！

当センターは、皆様からの会費・寄付金などにより運営しています。被害者の方が安心して相談できるセンターでありたいと思っています。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

- ◎ 賛助会員 個人 一口 千円より
団体 一口 一万円
- ◎ 寄附金 随時お受けしています

会費・寄附振込先

お振込先 : ゆうちょ銀行
口座番号 : 01620-0-9852
口座名義 : 公益社団法人
かがわ被害者支援センター

<税制上の優遇措置について>

当センターへの賛助会費、寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄附優遇措置の対象になり、また、個人の方からの賛助会費、寄附金は、所得控除の対象になりません。詳しくは国税庁のHPでご確認ください。

【お問合せ先】

香川県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 かがわ被害者支援センター事務局
760-0018 高松市天神前7番18号合田ビル 2階
TEL 087-897-7790 ・ FAX 087-897-7778

犯罪被害者支援活動募金

赤い羽根共同募金

当センターは、香川県共同募金会の赤い羽根共同募金運動のテーマ募金活動実施団体に参加し、平成28年1月1日から同年3月31日までの3か月間、募金活動を実施しましたところ、関係機関や団体、個人から多額のご寄附を賜り、誠にありがとうございました。このご寄附は、犯罪被害者支援事業に役立てさせていただきます。



平成28年度 赤い羽根共同募金

募金期間（平成29年1月1日～3月31日）

安全安心な地域をつくりたい！
犯罪の被害に遭われた方や、
そのご家族・ご遺族に
少しでも力になりたい！



募金箱の設置
第1号

クロロフィル高松
美顔教室

犯罪被害者支援活動資金募金箱



身近で手軽な社会貢献

募金箱を設置していただくことで、皆さま方の法人や団体の社会貢献活動をより推進することができます。法人、団体にとっては、手間をかけることなく、手軽に社会貢献が出来る仕組みです。

費用ゼロ

募金箱に集まった募金を、専用の振込用紙にて振り込んでいただく事務のご負担はありますが、振込み手数料等の経費の発生はありません。

パートナー顕彰

設置していただいた折には、当センターのホームページにおいて、社会貢献のパートナーとして顕彰し、積極的に広報します。

お問い合わせ先

(公社) かがわ被害者支援センター事務局
087-897-7790

「被害者支援自動販売機」設置場所

被害者支援自動販売機を設置していただくことによって、社会貢献をされている企業・団体及び個人の方々です。

設置にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

(平成 28 年 6 月末現在:順不同、敬称略)

東かがわ市

ネットヨタ高松(株)さつき店、香川県農業協同組合白鳥支店
(有)マイルドケアたんぼぼの家、東かがわ市役所
東かがわ警察署

さぬき市

オレンジタウンゴルフセンター藤井学園ゴルフ練習場
(老福)真清水荘、(株)さんがわ自動車学校
さぬき市民病院、志度ゴルフセンター、さぬき警察署
藤井学園寒川高校第2 青雲寮

三木町

(株)エムケーインデクト三木リサイクルプラント
東洋工業(株)三木工場、高松東警察署

小豆島町

小豆島オリーブ公園 (オリーブ記念館)、サン・オリーブ温泉 (サン・オリーブ)

高松市

東洋工業(株)本社、高橋石油(株) (本社、松縄店、大塚店)、にこにこライフ高松、(有)四国ハニー(株)パ
ジェットレンタカー四国本社、高松自動車学校、(株)えびす石材土木、(有)佐藤建材運輸、岡本カイ
ロプラクティック院、香川舗道(株)高松営業所、リ्यूテック朝日町サービスセンタールビー商會、
(株)村上組
(有)中西製麺、椋川ダム建設工事事務所 (大成・飛鳥・村上特定建設工事共同企業体)、香川県農業
協同組合(塩上支店、中央地区営農センター、太田支店、本店一宮別館、ふれあいセンター高松市
中央店)、(株)村上組建設工事現場、ホンダオートテラス高松、四国管区警察局、香川県警察本部
香川県警察学校、香川県警察本部運転免許センター、高松北警察署、高松南警察署

綾川町

(株)フレッシュデポ綾川事業所、高松西警察署

坂出市

三菱化学(株)坂出事業所、少林寺拳法坂出専修道院、(社福)敬世会特別養護老人ホームきやま
(有)川津土建、美容室ライフステージ、坂出国際ホテル、山下うどん、(一社)坂出市医師会
まえた整形外科医院、坂出警察署



宇多津町

ネットトヨタ高松(株)もみの木店、(株)フレッシュデポ宇多津事業所、YKK AP(株)四国製造所

丸亀市

(医社) 誠和会中野外科胃腸科医院、香川県農業協同組合讃さん広場、飯山北地区コミュニティ推進協議会、マルタフーズ今津店、丸亀市城南コミュニティセンター (ふれ愛の町みなみをつくる会)、丸亀警察署

多度津町

(株)アムロン鉄鋼本部テクノ多度津、高島総業(株)
白方公民館 ((公財) 多度津町文化体育振興事業団)

善通寺市

西日本高速道路(株)四国支社 香川高速道路事務所
宮川製麺所、善通寺運転免許センター

琴平町

(医社) たけお会岩佐病院、都村製作所(株)、琴平警察署

まんのう町

まんのう町役場琴南支所 (まんのう町役場職員組合)

三豊市

三豊警察署

観音寺市

(医社) 豊南会 香川井下病院、観音寺市役所、観音寺市世界のコイン館 (観音寺観光開発(株))
(株)フードレック、観音寺警察署

協力飲料水メーカー

四国コカ・コーラボトリング(株)、(株)伊藤園、香川ペプシコーラ販売(株)、(株)ジャパンビバレッジ中
四国サントリービバレッジソリューション(株)、(株)ワールドフーズ、(株)ウエストアライアンス
(株)光洋、(株)石原商店



この自販機のジュースを買ったら、困っている人の役に立つんだよ！

・・・「かがわ被害者支援自動販売機」(寄附金付き自動販売機)設置のお願い・・・

被害者支援自動販売機は、自動販売機設置者の売上金の一部を「かがわ被害者支援センター」が寄附を受ける仕組みです。寄附金は、当センターの被害者等の支援のために活用させていただきます。また、被害者支援自動販売機は、多くの人々が集まる市街地や広場等に設置されることで、一人でも多くの方が当センターの活動及び犯罪被害者への理解を深める広報的役割も担っています。

支援の輪を広げるため、被害者支援自動販売機の設置にご協力をお願いします。

設置方法

いたって簡単で、賛同する旨のご連絡をいただければ、現在設置されている自動販売機各メーカーと相談させていただき、協定を結べばすぐに実現できます。

新設の場合はもっと簡単で、ご連絡をいただければ、各メーカーに紹介して新たな自動販売機を設置させていただきます。ご支援をいただける場合は、

当センター (087-897-7790) までご連絡をお願いします。

被害者等の実態と 被害者等が望む支援



かがわ被害者支援センターシンボルマーク

被害者等が受ける被害

被害者等にとっては、生命や身体の被害などの直接被害（一次被害）だけでなく、その後の連鎖的に生ずる二次被害も深刻です。

二次被害には、

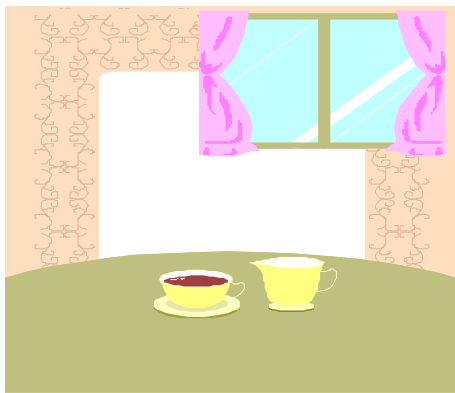
- 事件に遭ったことによる精神的ショックや身体の不調
- 医療費の負担や失職、転職などによる経済的困窮
- 捜査や裁判の過程における精神的、時間的負担
- 周囲の人々の無責任なうわさ話やマスコミの取材、報道などによるストレス、不快感などがあります。

被害者等の置かれている状況

事件直後の被害者等は混乱とショック状態に陥っていますが、さらに、

- 刑事手続きを知らないための不安
- 警察とかかわらなければならないことの戸惑い
- 犯人に報復されるのではないかとの心配
- 捜査協力による仕事などへの影響に関する不安

などが生じ、被害者等の精神的負担を重くしています。



被害者等が受ける心の傷『トラウマ：Trauma(心的外傷)』

トラウマとは、犯罪や事故による被害、自然災害など個人の対処能力を超えるような出来事に直面したときに受ける精神的な傷をいいます。

被害直後の反応

身体、感情、思考の麻痺

- 現実のことと思えない。
- 何も考えられない。
- つらい、悲しいという感情がわからない。
- 痛み、疲労、空腹という感覚がない。

交感神経の興奮

- 動悸、過呼吸、発汗、手足の冷感
- 物音や気配に敏感になる。
- 恐怖や不安を強く感じる。

様々な強い感情

- 信じたくないという否認
- 後悔、恥辱感、自責感
- 激しい怒り

長年にわたる反応

PTSD（心的外傷後ストレス障害： Post Traumatic Stress Disorder）

- 交感神経の興奮
不眠、過敏、いらいら、集中力欠如など
- 侵入的想起、再体験
突然事件のことが、その当時の苦痛とともに、思い出される。
事件の悪夢を繰り返し見る。

● 回避、麻痺

事件を思い出させるような会話、場所などを避ける。

喜びや楽しみの感覚が失われる。

疎外感、孤立感を感じる。

希望が持てない。

その他の問題

● 様々な感情

恥辱感、自責感、悲嘆、怒りなどの感情に翻弄される。

● 自分や社会に対する信頼感の喪失

● 家族間の考え方の違いによる不和

● 持続的症状による社会生活の不安定

被害者等が望む支援

被害者等にとって必要なこと

● 自分や家族に起こった理不尽な出来事を自分のペースで繰り返し話ができ、共感を持って傾聴されること。

● 悲しみ、苦しみ、憤り、怒りなどすべての感情を否定することなく受け入れてもらえること

● 同じ境遇におかれている人やその苦しみを切り抜けてきた人たちと一緒に心おきなく感情を分かち合えること

被害者等にしてはいけないこと

● 罪悪感、自責感の助長

● 他の被害者との比較

● 強くなれという励まし

● 感情表出の禁止

● 自己の道徳観や価値観の押し付け

● 話している被害者の話題を変えること

● できないことの約束

被害者等への言葉かけ

【役に立つ言葉】

- 本当にお気の毒です。
- どうしたらあなたの役に立てますか。
- 怒ったり悲しんだりしていいのですよ。
- 今までと同じように仕事や家事ができなくて当たり前です。
- 無理にがんばる必要はありません。
- 本当につらいことは、一生忘れられなくて当たり前です。
- よくがんばってきましたね。

【言わないほうがよい言葉】

- 前向きにならなければいけません。
- つらいのはあなただけじゃありません。
- どんなに泣いても、もう元にはもどりません。
- 早く元気になってがんばってください。
- もっとひどい被害にあった人もいます。
- 時間がすべて解決してくれます。
- ……すればよかったのに。





・・・一人で悩まずお電話下さい・・・

犯罪や事故にあわれた方やご家族のための相談電話です

相談電話 087-897-7799

(平日 10:00~16:00)

相談・支援無料 秘密厳守

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 かがわ被害者支援センター

<http://sien-kagawa.sakura.ne.jp/>



表紙の写真：渡 隆一 氏 撮影
(蓮の花：栗林公園)